

就任の辭

撰ばれて雜誌編輯の任務を負ふ。不才文筆に馴れき顧みて平かなざるものあり。或は諸賢の嘲笑を買ふに止まらむかを恐る。只我等の頼む所は眞摯なる態度にあり。獨立の主張にあり。時代思潮の流れ將に急轉直下の勢を以て進む。一日の安を偷まんか一日の遲滯を如何せむ。我等の武器は努力あるのみ。我等は龍南思潮界の統一を願はせ否既に沈滯せる統一に厭く。不敏と雖も請ふ諸賢と共に不羈不束の行路を辿らむ。

明治四十三年六月

雜誌部委員

南 正樹 赤瀬八代喜 吉鹿善郎
河崎清風 富田仙三